

Six Sigma 「シックスシグマ」 導入のお勧め

カウボーイ版Six Sigmaのサムライバージョンの提供

シックスシグマ導入企業の声

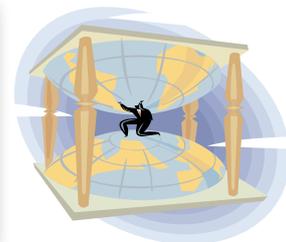
- *わざわざアメリカまでトレーニングに行きましたよ！
- *テキストが英語で、内容がくどかった！
- *講師が英語なので、よけい理解しにくいよ。
- *改善に使う手法は全て知っていたのに・・・

未導入日本企業数社の声

- *Black Beltを専任化するのは無理
- *Black Beltに権限を委譲するのはうちの企業風土にあわない
- *うちにとって導入した手法が結構入っている
- *カリキュラムをアレンジしてくれたらなあ

ITEQ版Six Sigmaは・・・「カウボーイ版Six Sigmaのサムライバージョン」

- ◆純粋な日本人による日本語テキストでのSix Sigma
- ◆Six Sigmaの良いところを日本企業にマッチした内容で提供できます
- ◆貴社にあわせた内容にカスタマイズできます=貴社のためのオーダーメイド版
- ◆成果出し実践経験豊富な講師陣による提供ができます



なぜ今Six Sigmaが必要か？

日本の大手企業は、人員削減や拠点の統廃合などの策をうち、当面の利益を確保する暫定処置は終わりつつあります。次に経営者が考えることは、**3~5年先の安定した利益確保のための戦略**です。

一方、中国では、色々な国のメーカーが生産拠点を作るための準備を行っています。そこに見られるのは、日本の企業の経営判断が非常に遅く、日本の企業が3ヶ月かかることを、例えば台湾系企業では1日で行っているという実態です。

色々なメーカーの方もよくご存知のように、これからは色々な側面でのSpeedが要求されています。ある企業では、商品開発をSpeed Upさせることで、はやくお客の要求に答える商品を量産化し、シェアを大幅に広げています。

今、日本の企業に求められていることは、**経営TOPの目標や方針を早く実現する企業体質に変革させることです。**それには、下記のアイテムでの変革が必要です。

Six Sigmaは、下記のアイテムでの変革を実現する全社的手段を提供します。単なる改善手法ではなく、完全なManagement Programだということをぜひ認識してください。

Six Sigma=Speed Upにつながる企業体質への変革Programです！

Six Sigma導入後の到達イメージ

TOPの目標・方針をSpeed Upして実現する企業へ！

経営面での判断データ&ものさしの充実→あいまいさの軽減

Project遂行能力の高い人材のHigh Speedな育成=Black Belt
上記人材を育成できるプロ人材のHigh Speedな育成=Master Black Belt

Six SigmaのProcessをシステム化→継続した成果が出せる

- *経営目標を実現する重点課題を決定するManagementの強化
- *判断のデータともものさしの充実
- *重点課題の管理システムの強化



Six Sigmaは上記のアイテム全てを実現する方法を提供します



この資料だけでは説明しきれないことが多くあります。ご希望があれば、当社の営業がお邪魔して、Six Sigmaのプレゼンを実施させていただきます。その他、単純な疑問点、悩み事等、お気軽にご相談ください。

TEL:052-917-0711 mailto:info@iteq.co.jp

当社では、下記の面での成果出しの実践経験豊富な講師陣をそろえています。Six Sigma以外のご相談でもお気軽にご連絡ください。

- *量産製品の品質改善
- *新商品開発全体の改善
- *開発プロセス革新(開発期間=1/2・開発コスト=1/4等)
- *間接部門の業務改善
- *新ビジネスモデルの構築(営業・企画)、等